

令和7年度 第1回 曳馬小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月2日（金） 午後2時00分から3時45分
- 2 開催場所 曳馬小学校 多目的ホール
- 3 出席委員 飯尾忠弘、荒巻太枝子、川井啓介、中村佐知枝、戸田京子、鈴木香代、山田佳乃
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 伊藤成明(曳馬協働センター)
- 6 学 校 藤井隆志(校長)、古橋孝文(教頭)、鈴木正委(主幹教諭・CS担当職員)、内堀邦子(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 内堀邦子(CSディレクター)
- 9 副会長の指名

司会から、副会長の選出について委員に意見を求めたところ、飯尾会長から荒巻委員を副会長に推挙する発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 「令和7年度 学校運営の基本方針」について（藤井隆志校長）
- (2) 「いじめ防止のための基本方針」について（藤井隆志校長）
- (3) 「夢育やらまいか事業」について（古橋孝文教頭）

11 会議記録

司会から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。オブザーバーとして、曳馬協働センターの伊藤成明さんに参加していただいた。

別紙資料に基づき、浜松市学校運営協議会規則の確認をした。（鈴木主幹教諭）

(1) 「令和7年度 学校運営の基本方針」について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき「学校運営基本方針」について説明があり、以下の発言があった。

- ・ 昨年度、大きく学校教育目標が変わった。子供たちにきちんと伝わっているのか、また教職員にはどのように伝えているのか。（戸田委員）
- ・ 子供は柔軟に受け入れている。（飯尾会長）
- ・ 1年生を迎える会を見ると、前向きな姿勢や穏やかな心が育っていると感じ、目標が浸透していると感じている。（藤井校長）
- ・ 「曳馬っ子教育計画」を通じて教職員には詳細について伝えている。（古橋教頭）

協議の結果、学校経営構想について、全員異議なく承認した。

(2)「いじめ防止のための基本方針」について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき「いじめ防止のための基本方針」について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 紙でいじめアンケートを行うと記入する子は少ないが、学校外で放課後学習支援を行っているときの子供たちの話を聞くと、表面化していないことがあるように感じる。(川井委員)
- ・ Webで行ういじめアンケートでは、記入する子が3倍に増える。(飯尾会長)
- ・ 紙では書きにくい子でも、Webでは書き込みしやすい傾向にある。(古橋教頭)
- ・ Webで行ういじめアンケートは、項目を選択していく中で、少しでも心配な点があれば、アラートが付くようになっている。(鈴木主幹教諭)
- ・ アラートが付いた案件は直ちに一齐調査に入る必要があるが、空き時間がほぼない小学校では、一齐調査対応は人員的に厳しい現状である。(藤井校長)
- ・ アラートの有無にかかわらず聞き取りは全員行っている。聞き取りは大変ではあるが、1つずつ丁寧に対応している。(鈴木主幹教諭)
- ・ 子供たちが発信したら、少しでも対応を進めてほしい。(川井委員)

協議の結果、いじめ防止基本方針について全員意義なくこれを承認した。

(3)「夢育やらまいか事業」について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき「夢育やらまいか事業」について説明があった。夢育やらまいか事業について、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

学校支援活動について、協力依頼の説明があった。

飯尾会長より昨年度の活動の報告があった。

次回会議は、令和7年8月7日(木)午後2時00分から多目的ホールで開催する旨の報告があった。